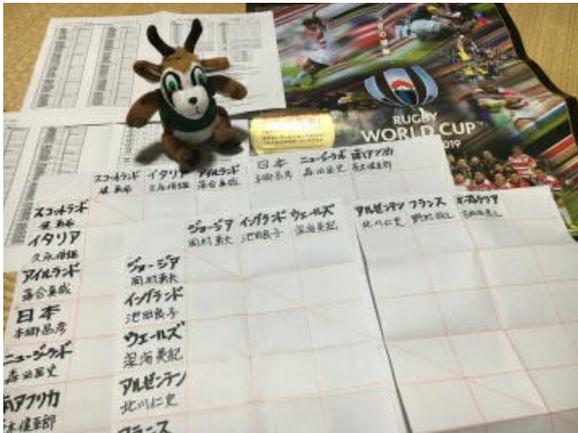


第17回～ワールドワイド

さてさて、ラグビーワールドカップまであと1ヶ月を切って、日々カウントダウンを続けています。ジャパンは目標のベスト8まで進むか、ニュージーランドの連覇か、ウエールズがこれを阻止するか。ちゃんと開会式の東京スタジアムに行けるか、会場でビールが買えるか、売店の行列は解消されるか、開会式のセレモニーでどんなレジェンドが登場するのか、初戦の相手のロシアの国歌を間違えずに歌えるか・・・など気になることばかりで、仕事も手につきません。・・・って、「いつも真面目に仕事してへんがな～！」などと突っ込まない。そんな時期に開催する二島杯は、ワールドカップのPRから。



場内にワールドカップ誘致のポスターを張って、ラグビーマガジン並べて、大会のブックレットに前回大会の記事、ラグビーボールも置いてPRコーナーを設置。開会式も当然、ワールドカップのPR、大会テーマは、ワールドワイドで、「4年に一度じゃない、一生に一度」のイベントであることをお知らせしました。チーム名も、出場国の名前にして、国とキャプテンを紹介する際には、各国国歌を一節歌ってみました。6ヶ国のプールで総当たりから、同順位同士が対戦するいつもの方式でしたが、ワールドカップの順位を予測できたのでしょうか。





参加者96名、ABプールからアイルランドが、CDプールからはウエールズが決勝に進出。4ダブルスで決着が付かず、もう1試合追加の熱戦です。「イケイケ兄貴！ 押せ押せオッチー！」などと応援したかどうかはわかりませんが、キャプテン・オッチーとプリンセス・マサコ様が勝利、エリスカップはアイルランドが奪取しました。



閉会式は、アイルランド優勝、ウエールズ準優勝、南アフリカ3位を発表した後、個人賞、越後屋スコッチ賞争奪ジャンケンから、締めは、主催者が「カモン」と発声した後、皆さんで「ジャパン」と唱和して終了です。



おっと、門真市青年協会主催のバドミントン大会の記事とは思えないお話になってしまいましたね。今回は、当日ドタキャンが出て、エントリー忘れ、おまけに携帯電話故障による通信不能。選手の実力把握が甘いのと、相棒の越後屋さんが福岡出張で融通が利かなかったなど、困ったこともありました。いつものスタッフに助けられ、越後屋一番弟子のスコッチ君が、「すこやか体操」を披露して盛り上げてくれました。



参加の皆さんの年齢層も低くなり、レベルが上がったような(私のレベルが下がったかも)もう20年近く開催していますが、初回に参加してくれた方々も来てくれて、楽しく羽根を打つ輪が、世代を超えて広がったような気がします。



コアスタッフの皆さん、お手伝いありがとうございました。ご参加の皆さんも、お付き合いありがとうございました。まだまだ、二島杯は続きますよ。



ではでは、ラグビーワールドカップに向けてご唱和下さい。「カモ〜ン」
「ジャパ〜ン！」

令和1年9月3日記

[トップ](#) [戻る](#)
